

## 産学官一体となったICTトップ人材の育成

### 概要

九州大学大学院システム情報科学府は、「社会情報システム工学コース」を平成19年度から設置し、産学官一体となった情報通信技術分野のトップ人材を育成します。九州大学は、文部科学省「[先導的ITスペシャリスト人材育成推進プログラム](#)」、日本経団連「[高度情報通信人材育成プロジェクト](#)」の推進拠点に選定され、九州工業大学と緊密に連携し、日本経団連の全面的支援、地域の産業界や自治体および熊本大学、宮崎大学との協力体制に基づき、本コースを実施していきます。

### ■ 背景

産業界では、次の世代を担う優秀な情報技術 (Information Technology: IT) 分野の人材の不足が深刻な問題となっています。社団法人 日本経済団体連合会 (以下、日本経団連) の試算によると、産業界には毎年新卒者として一流のIT人材が1500人程度必要なのが、現状ではほとんど確保できていません。「このままではインド、中国、韓国など、IT教育に力を入れている国との競争に負けてしまう」という産業界の問題意識から、日本経団連では2005年6月に「[産学官連携による高度な情報通信人材の育成強化に向けた提言](#)」を発表し、2006年5月に[重点協力拠点2校、協力拠点7校を選定](#)し、産業界を挙げてこれらの大学を支援していくことを決めました。また文部科学省では平成18年度から「[先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム](#)」を開始しました。このプログラムで育成を目指す人材は、1)ソフトウェアの研究開発現場で直ちに求められる専門的なスキルを有することはもちろん、2)長期的な社会情勢の変化とそれに対するITの変容等に対する先見性をもち、3)それらの変化に柔軟に対処できるソフトウェア開発を実施できるとともに、4)企業等で先導的役割を担い得る実力を備えた人材です。文部科学省では2006年9月に公募に応じた26件(25大学)の中から[6大学を選定](#)し、人材育成の拠点とすることを決定しました。九州大学は、経団連の「重点協力拠点」と文部科学省の「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」の「育成推進拠点」の双方に選定されました。ここに産・学・官が一体となって、高度なICT (Information and Communication Technology) 人材を育成する体制が整いました。

### ■ 内容

本プログラムでは、最先端のIT知識に加え、現行教育で不足していると言われる、

1. 社会の中で技術を企画、設計、構築、運用する能力や知識
2. 大規模なチームによるシステム開発やマネジメント
3. リーダーシップやコミュニケーション力

を身につけてもらうことを目的としています。具体的には、産業界や他の大学と連携し、実際にシステム開発プロジェクトに参加しながら学ぶReal Project-Based Learning (PBL) の科目を充実させています。また、大学教員の他に、経験豊富な産業界の現役スタッフが、専任スタッフ(2~3名)および非常勤講師(約30名)として講義を担当し、様々な側面から幅広い知識を提供します。また、実践的科目だけでなく教養・哲学系科目群、ヒューマンスキル系科目群も設け、全人格的な育成も図ります。さらに、実際に企業に派遣して実務を行いながら学ぶインターンシップや、産業界のスタッフが学習の方向性や進路等についてアドバイスを行うメンター制度も設けています。

## ■ 効 果

本プログラムの実施により、産業界側と大学側の知識と技術・経験などが融合した、実践教育プログラムを確立します。そのプログラムに基づき、将来の高度情報通信技術に携わる人材（ICT アーキテクト）となるべき素養を備えた人材育成が可能となります。そして、それら ICT アーキテクトが開発した安心できる安全なシステムにより、将来の日本社会や国際社会がより豊かになることと期待します。

## ■ 今後の展開

日本経団連の他の拠点大学や、文部科学省の「[先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム](#)」の他の選定大学とともに、コンソーシアムなどのコミュニティを形成し、本コースで実施するプログラムならびにコミュニティ内メンバーが開発したカリキュラムや教育・実践方法の洗練化を行うとともに、その実践プログラムの全国展開を図ってまいります。従いまして、本コースの設置は、我が国における、緊急の課題である ICT トップ人材の育成に関して、全国的な流れを形成できることが期待されます。

### 【用語解説】

#### ・ ICT アーキテクト :

情報通信技術についての深い知識と技術を有し、システム構築にあたっての根本となる基本概念の発想から、分析、設計、構築、試験、および最終成果の開発までを担当できる人。

#### ・ Real PBL(Project-Based-Learning) :

実社会の問題をアつかうプロジェクトを通して、システム開発に必要となる方法や技術、作法などを習得する教育方法。

#### ・ メンター :

よき指導者であり助言者。

#### ・ コンソーシアム :

共同事業体。

### 【お問い合わせ】

システム情報科学研究院 教授

プロジェクト推進オフィス長

福田 晃

電話 : 092-802-3658

携帯 : 090-5087-1994

FAX : 092-802-3658

Mail : fukuda@csce.kyushu-u.ac.jp